

# 森林整備推進協定締結に向けた取り組み

地域課題の解決に向けた取組

渡島森林管理署

渡島森林管理署管内の民有林においては、伐採後の植栽等が完了していない箇所や適切な間伐が実施されていない箇所をどう解消していくかが重要な課題となっています。

そこで、八雲町、長万部町、山越郡森林組合等に働きかけ、民有林と国有林が共同で森林の整備に取り組み森林整備推進協定を締結して、森林の整備や路網の整備、伐採した木材の集積場所(土場)の共同利用等による施業の集約化・効率化などを図り、民有林の植栽や間伐を促進する取り組みを、モデル的に進めることとしています。

先般、八雲町、長万部町の担当者とともに、森林整備推進協定を締結し民有林

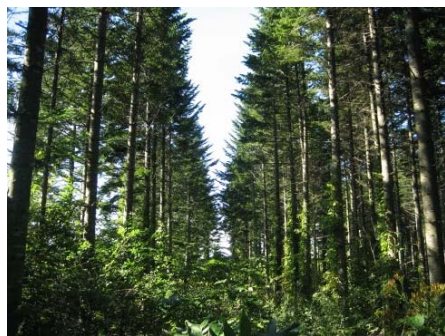
と国有林が連携して路網の整備を進めている寿都町の事例を視察し、情報共有を図ったところであり、今後は民有林と国有林が一体となって、土場の共同利用、施業の集約化等について検討するとともに、各町の首長へ直接働きかけを行い、今年度内に協定を締結することとしています。



協定締結済みの寿都町を視察

また、渡島檜山地域林政連絡会議においては、列状

間伐への理解を深めることを通じて間伐の実施率を高めるために、民有林に設定した列状間伐のモデル林を活用して現地検討会を開催することとしています。



民有林に設定した列状間伐モデル林

さらに、7月20日、北海道森林管理局及び後志森林管理署の協力により、高性能林業機械等に対応した、低コストな作業システムを構築するための「工程管理

システム」についての説明会を渡島・檜山地域の林業関係者を招き八雲町において開催しました。

今後の林業事業者等での作業システムの見える化を進めるうえでの一助になればと考えています。



八雲町での「工程管理システム」の説明会

そのほか、各自治体、林業事業者等を対象に、伐採から地拵、さらにはコンテナ苗による植栽までを一体

的に行う一貫作業システムの構築に向けた現地検討会を開催することとしています。

このような現地検討会などの開催を契機として、民有林と国有林が連携して森林の整備や路網の整備、また土場の共同利用など様々な具体の取り組みに向け協議を進めるとともに、民有林における列状間伐の推進などの地域課題への対応も進めていく考えです。

今後は次期地域管理経営計画並びに市町村の市町村森林整備計画の樹立に向けた検討の中で、地域の持続的な森林経営を確立するために森林共同施業団地の設定を目指して取り組んでいきたいと考えています。